

専攻課程校友会 第4回理事会 議事録

専攻課程校友会

◎県連協及び川連協関連

○川連協第36回「文化祭」が川越市立中央図書館で開催された

- ・開催期間：11月2日（火）～5日（土） ※例年より1日減
- ・出展状況：260点(昨年度279点) 入場者数：239名(昨年度280名)

昨年度と同様コロナ禍の中での開催で、検温器・消毒液の設置等の感染防止対策を図ったうえ実施され、また川連協加盟校友会及び会員数の減少に伴う出展作品の確保が懸念されたが、川連協退会校友会や退会の個人への出展要請に努めたこともあり、壁面・テーブル共に賑やかで見易い展示となった。

○川連協新春日帰りバス旅行について

急速にコロナ感染者減少の感があるが、前回9月の理事会では今年度の実施は難しいとの意見が大半を占めていたため、今となっては準備不足であること、また冬に向かい第6波を危惧する声も多く、今年度は取り止めとすることとなった。

○県連協会費の返還

- ・県連協繰越金が返還された。（¥17,000）

◎校友会関連

○パークゴルフ大会（10月19日、吉見町パークゴルフ場）参加人数：15名

天気も心配されたが降らずに保ち、昨年より増えた参加者は和気あいあいと18ホールのプレーを楽しみました。（添付の大会収支報告書参照）

○川連協「文化祭」（最多の出展者と最多の作品数が出品 13名、89点）

小鹿野（絵画・手工芸）・長谷川（絵画）・足立（章）（絵画）・斉藤（写真）
 ・吉田（写真）・桂（絵手紙）・大河原（絵手紙・手工芸）・山下（絵手紙クラブ）
 ・前島（絵手紙）・木内（手工芸）・丸田（絵画・写真・絵手紙）
 ・石井（英）（絵画、協賛）・江藤（絵画、協賛）

○秩父散策（11月16日、秩父市街～ミューズパーク他）参加人数：23名

昨年と同様に秩父在住の石井理事の企画・案内で、秩父の名勝と市街の街並み、そして秋の色に染まったミューズパークを楽しく散策して来ました。

○ボランティア活動

- ・赤い羽根共同募金（10月1日）
 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け今年度も中止となった。
- ・余剰タオル寄贈（例年3月の総会時に収集）
 このまま感染状況が収まっていれば実施する。

※ 次回1月の理事会では、次年度校友会の体制及び活動内容についてを協議する必要があり、理事会までに下記事項の確認・検討を行う。

- ・会員数の把握（会員継続確認）
- ・会費額の検討（今年度予算執行額の把握と来年度事業内容の検討）
- ・グループ再編（会員数の変化に対応）
- ・役員改選（新しく役員を担ってもらえる人を募る）
- ・イベント等活動内容の検討

以上